

事務事業名	簡易水道施設改良事業		会計	簡易水道	実施区分	継続			
			事業種別	政策	開始	終了			
H29作成課等名	水道課	H29係等名	維持係	H28担当課等名 水道課					
基本計画上の位置づけ	政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり						
	施策	45	居住基盤の向上						
目的	対象(誰・何を)	簡易水道事業水道施設			対象指標	指標名及び単位	28年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	適正に簡易水道施設を改良することにより、公衆衛生の向上と生活・事業基盤の向上を図る				簡易水道事業数	1		
	向上させたい上位施策の成果指標	居住基盤の満足度							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	クリプト対策済み・対策不用給水人口率(%) = 対策済み・対策不用給水人口 / 給水人口			99	99	99	99	
	成果指標	給水人口(計画給水人口2,070人:H23変更認可)			2100	2100	2070	2070	
定性目標									
事業概要	<p>原水よりクリプトスポリジウムにおける指標菌が検出された水源について、処理施設の建設及び他地区からの連絡管の布設を行いました、他事業に関連した水道施設の移設・布設替え工事、老朽化等に伴う施設の改良・更新工事を実施することにより、水道法に定められた給水水質を満たした安全安心な水道水を安定的に供給する。                  指標菌が検出された水源については、施設改良工事が完了するまでは原水浄水維持管理事業により定期的に原水水質等の管理をする。</p>								
28年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	1 和見連絡管布設工事 2 和田バイパス関連布設替工事				1 管路新設 2 管路布設替		1 1式 2 1式		
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		7,117	21,000	19,199	0	(起債)簡水債6,000 (起債)過疎債6,000 (その他)和田バイパス移設補償金3,398			
国庫支出金									
県支出金									
起債		7,000	21,000	12,000					
その他				3,398					
一般財源		117		3,801					
人件費計(千円)②		2,575	2,575	2,575	0				
正規職員所要時間		720	720	720					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		9,692	23,575	21,774	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り	和見連絡管布設工事及び、和田バイパス関連布設替工事について、計画通り実施ができた。								
改革改善の考え方	①問題点	クリプトスポリジウム・ジアルジア対策としてろ過施設の設置を予定しているが、建設費用が高価である。							
	②改革提案	対策をろ過施設に限らず、安全な原水取水の調査を進め、事業費の縮小を図る。							